

菊池神社献穀拔穂祭  
菊池地方の五穀豊穰に感謝



10/6 神社奉賛会員、JA、行政他関係者27人が参列。拔穂の儀では神職による雅楽の演奏が響く中、早乙女役のJA菊池職員4人と白丁姿の神社総代5人が献穀田に入り稲を刈り取りました。12月17日の新嘗祭に献上されます。太田主の永田正一郎さんは「高温続きの天候に心配したが良い米ができた」と笑顔を見せました。



泗水町南田島で  
県立大生と菊農生が  
稲作ボランティア

10/15 熊本県立大学の学生と菊池農業高校の生徒12人と関係者が、泗水町南田島で地域活性化を目的とした稲刈りと掛け干しを行いました。22日には脱穀し、精米した米は11月の同大学園祭などで販売。菊池市「域学連携」事業が始まりで、今年9年目となりました。同大環境共生学部の柴田祐教授を中心に行われています。田んぼを管理する泉田寛靖さんは、当初から関わり交流を続けています。  
※域学連携:学生が地域の人々と地域の問題解決のための活動を行うことです。



泗水酪農女性部全体交流会 講演会で笑顔と元気を!



10/11 酪農情勢の厳しい状況乗り越えて頑張ろうと交流を深めました。女性部員他管内、県内の酪農女性など51人が参加。(有)むらかみ牧場代表の村上久幸さん、徳島県で酪農を営む大松弘実さんが講演。質問も飛び交い、元気の出る交流会となりました。